



たましゅう  
こ  
玉小っ子

<http://www.town.tamamura.ed.jp/tamamura-e/>

令和3年度 玉村小学校  
学校だより 第18号  
2021年11月18日発行

## 子どもたちの学力を伸ばすために

2学期に入り、先生たち同士で授業について話し合ったり、授業を参観し合い検討したり、外部の人に授業を見てもらいアドバイスをもらったりする機会をたくさん設けています。先生たちは大変ですが、子どもたちの学力を伸ばしていきたいという考えで前向きに取り組んでいます。

5月6年生を対象に行われた全国学力学習状況調査では、国語は全国平均をやや上回り、算数はほぼ同程度でおおむね良好であったと捉えています。しかし、課題も浮き彫りとなったので、分析し解決策を話し合い全校で取り組んでいるところです。

国語では、説明文を読み取り、いくつかの条件に合わせて50～80字の文章を書く、という問題に課題がありました。まずは、文章を書くことに慣れさせるため、課題作文や一口日記、行事後の作文など文章で表現する機会を多く作り、テーマや条件に合った文書を書かせるようにしています。また、文章を読み取ることや文章以外の資料（表や図、絵）などを正確に読み取ることにも必要なことから、国語だけでなく、さまざまな教科で丁寧に資料を読み取る場面を作っていきます。説明文は、順序や段落を手がかりに正確に読み取っていくことが大切です。授業でも、それらを意識して読み取っていけるよう工夫をしていきます。



算数では、面積の求め方を説明する問題や友達のを自分の言葉で説明し直す問題に課題がありました。また、「8人に、4Lのジュースを等しく分けます。1人分は何Lですか。」という問題で「 $4 \div 8$ 」と立式できた子が半分、残りは「 $8 \div 4$ 」としてしました。間違えてしまった子は、あまり考えずに、大きい数を小さい数で割ったり、出てきた数の順で立式したりしたのだと思います。何を求めるのか、問題に出てくる数はどんな数なのか、といったことを考えていなかったのだと思います。 $4 \div 8$ の計算の仕方は繰り返し学習しますが、その式を立てるための考える活動が不十分だったのかもしれない。2年生のかけ算でも、 $2 \times 3$ と $3 \times 2$ では、答えは同じ6ですが、式のもつ意味は違います。式を立てる授業の場面で、「本当にその式でいいの?」と問い直したり、何でその式にしたのか説明させたりして、式の意味を考えさせるようにしていきます。また、考えを説明することに課題があるので、ペアやグループで自分の考えを説明し合ったり、教え合ったりする活動を一層充実させていきます。

玉小では、授業以外でも、朝に「朝トク」の時間を設け習熟させたり、週末は「家トク」としてご家庭の協力を得ながら家庭学習の習慣を身に付けられるようにしています。今後も、全ての子どもにこれからの社会を生き抜くために必要な学力を身に付けるため学校全体で取り組んでいきます。



11月は児童虐待防止月間となっています。国からのメッセージを掲載しますのでご一読下さい。

保護者、学校関係者、地域の皆さまへ

「児童虐待の根絶に向けて ～地域全体で子供たちを見守り育てるために～」

11月は児童虐待防止推進月間です。

子供たちへの虐待は、児童相談所の相談対応件数（速報値）が初めて20万件を超えるなど、極めて深刻な状況です。新型コロナウイルス感染症の影響による生活不安やストレス等に伴い、児童虐待のリスクが一層高まっています。児童虐待により子供たちが傷つき、亡くなるようなことは、何としても無くさなければなりません。

虐待は、殴る、蹴るといった身体的虐待だけではなく、言葉で脅す、無視するなどの心理的虐待、家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にするなどのネグレクトや性的虐待もあります。いずれも子供たちの心身に深い傷を残します。

保護者の皆さま、大切なお子さまの健やかな成長のため、「虐待はしない」と誓ってください。心に余裕がない時はストレスの解消など、皆さま自身が休むことも大切です。子育てに不安や悩みがある時には、身近な人に相談したり、自治体の相談窓口等を頼ったりしてください。

学校関係者の皆さま、日頃から子供たちと接する中で、児童虐待と疑われる事案に気付いた際は、速やかにチームとして対応し、市町村や児童相談所に通告するとともに、関係機関と連携して対応してください。

地域の皆さま、是非、子供や保護者の様子に関心を持って見守ってください。不自然な傷のある子供や子供の養育に無関心な保護者など、虐待が疑われるサインに気付いた際は、最寄りの児童相談所に繋がる全国共通ダイヤル「189」（“いちはやく”）に相談・通告してください。

児童虐待の防止には、家庭・学校・地域が一丸となって子供たちを見守り、育てることが重要です。文部科学省としても、関係省庁とともに取組を推進してまいります。皆さまの御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

令和3年11月

文部科学大臣

末松信介

玉小のホームページには、学校紹介のほか、予定表や学校通信、毎日の学校の様子をアップしている「学校日記」があります。タイムリーに掲載していきますので、是非ご覧下さい。保健関係のダウンロード資料等も載っています。

<http://www.town.tamamura.ed.jp/tamamura-e/>

